

フードビジネス学科 基礎演習・専門演習（田中ゼミ） イングリッシュ・サークル

フィクションに見るイギリス紅茶文化

イギリスで書かれた小説や児童文学、童話の中では、お茶の時間が重要な役割を果たしていることがあります。**田中ゼミ**は、童話の中のイギリス式ティーパーティに注目し、イギリス紅茶文化を研究をしています。



Beatrix Potter the Complete Tales
(Warne; Slp, 2006/10/19)

イギリスの童話を英語で読むことは、日本の小学校で英語を勉強している子どもたちにとっても、楽しい体験です。**イングリッシュ・サークル**は、童話を朗読劇として発表し、公開講座をサポートしています。

紅茶の茶葉は、ツバキ科ツバキ属の常緑樹です。原産地はインド、中国、ベトナムとされていますが、詳細は不明です。中国種とインド種があり、**発酵の度合い**によって紅茶、烏龍茶、緑茶に分類されます。



中国種（左）と
インド種（右）



紅茶
完全発酵



烏龍茶
半発酵

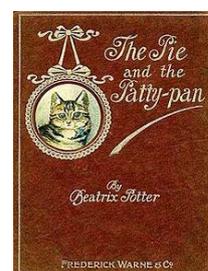


緑茶
不完全発酵



イギリスで最初にお茶が売られた17世紀、お茶は**万病に効く東洋の秘薬**と考えられていました。現在では、紅茶ポリフェノールなど健康に有効な成分や、新陳代謝に必要なさまざまなミネラル成分やビタミン類が含まれていることがわかっています。

現在のイギリスでは、眠る前にはカフェインを含む紅茶ではなく、ハーブティーを飲むことが増えたと言われています。『ピーターラビットのおはなし』で、こうさぎピーターが眠る前にお母さんからもらったお茶もカモミールティー（かみつれ茶）というハーブティーです。



ゼミ課題
The tale of the
Pie and the
Patty-pan
(Potter 1905)